

ごあいさつ

我が国は、食習慣の改善、衛生環境の改善、医療技術の進歩などを背景として、平均寿命が延伸しています。健康増進施策を推進していく上で大きな目標でもありましたが、一方で、平均寿命の延伸とともにフレイル、要介護状態、認知症、寝たきりなど、負の要素も見受けられるようになっていきます。

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間である「健康寿命」を延伸することが、最も重要な目標であると考えています。



神戸町では、平成30年度から令和4年度を計画期間とする「第3次神戸町すこやかプラン21」を策定し、基本目標として「すべての町民が生涯を通じて、健康で生き生きと過ごせるまちづくり」を掲げ、「一次予防の重視」「性と生殖に関する健康・権利（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）に関する意識の浸透」「食育の推進」「自殺の予防」「目標の設定」「健康づくり情報の提供」の6つの基本方針に則って、健康づくりに取り組んでいきます。

このたび策定する本計画においては、これまでの基本目標を昇華させた「すべての町民が自ら考え行動し、生涯を通じて、健康でいきいきと過ごせるまちづくり」という基本理念を新たに掲げ、町民一人ひとりが健康に対する意識を高め、さらに町民をサポートする環境を整え、関係機関等と連携しながら、健康寿命のさらなる延伸を目指して行くこととしています。町民の皆様、そして関係機関等の皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました「神戸町健康増進計画等策定委員会」の皆様をはじめ、各種調査にご協力いただきました皆様及び関係各位に心から感謝申し上げます。

令和6年3月

神戸町長 藤井 弘之